

# 道頓堀商店会報

10月号(2015 9.28 No.120)

道頓堀商店会事務局  
〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1-7-21 中座くいだおれビルB1  
TEL.06-6211-4542 FAX.06-6211-9764  
発行人：今井 徹 編集：広報委員会(吉田)

## 放置自転車追放に向けて、道頓堀自転車マナーアップキャンペーンの実施報告書

道頓堀では、放置自転車をなくして、安心して散歩できるまちづくりの社会実験の取り組みとして「道頓堀マナーアップキャンペーン」が7月8〜12日に行われました。大阪市による放置自転車の撤去後、プラッターで囲まれた敷地内(かに道楽本店・ドウトンビル、TSUTAYAビル)FOREVER21ビルの道路上に人芝、スタンディングテーブルを設置したグリーンスポットが、憩いの場になることを目的にキャンペーンを実施。合わせて、千日前通から北側、御堂筋から千日前商店街のエリアで駐輪実態調査を行い、このほど調査結果が報告されました。主催は、大阪ミナミ400年祭実行委員会とミナミ子育てネットワーク。

利用者は、7月10日(金)では1038人(推計)、日本人の比率は21%、12日(日)では1716人(推計)、日本人の比率は64%で、平日は外国人が、休日は日本人が多いと言えます。年代はいずれも、20歳代が半数近く、順に30歳代、40歳代、50歳代と続きます。来訪目的は、いずれも観光が半数以上。次に買い物客が20%、18%が飲食でした。またアンケートスタッフの感想として、「食べ場所が少ないのでテーブルがあってもよい」「もっとエリアを広めてほしい」「自転車マナーアップにつながり続けてほしい」「ゴミ箱がなくてよかったです。」「客引き行為をしている人からは評判が悪かった」などと言った声も寄せられています。

自転車の転移はほとんど見られませんでした。しかし、休日のキャンペーン前(7月4日(土))と期間中(7月11日(土))の比較では、サイン側、御堂筋東側、中座くいだおれビル西側に放置自転車が増えています。これは、当日南地中筋商店街の夏祭り、サイン側北側に駐輪されていたものが転移されたとも見られますが、グリーンスポットからの転移分もあったのではないかと見られます。駐輪場利用については、FOREVER21屋上の利用は期間中一

全体エリアにおいて平日に限って、キャンペーン前と期間中では、適法駐輪を5%引き上げ、違法駐輪を5%引き下げたと見られ、啓発活動を行ったこともあり、一定の効果があったといえます。以上、限られた日数とエリア内のごで、明確な成果までは現れてはいませんが、今後このような社会実験を繰り返すことで、有効な放置自転車対策が見出されることを期待されます。この報告書についてのお問い合わせは、事務局まで。



▲スタンディングテーブルで憩う人々。

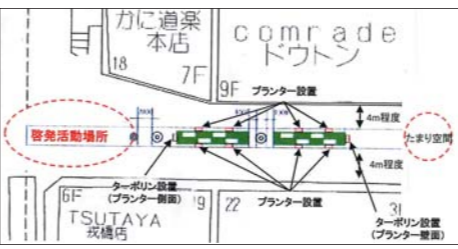


▲スタッフが自転車マナーを呼びかける。

## 「大阪ミナミ400年祭」イベントガイド第2号が完成



今年7月発行された「夏号」に続いて、〈秋・冬号〉が発行されました。7月11・12日に開催された「400年祭」本祭やギネス世界記録を達成した「道頓堀盆盆どり」の詳しい紹介が掲載されています。来年2月まで続く「道頓堀川開削400年」記念イベントを紹介するとともに、ミナミの400年の歴史を掘り起こす読み物ページもあります。A4版・12ページ・オールカラー。月末に会員の皆さんに配布します。乞うご期待。



▲プランターやスタンディングテーブルが設置されたグリーンスポット(かに道楽本店・ドウトンビル前)。



▲今回調査エリアの路上および駐輪場。

**ミナミ一斉大さつじ**  
「10月31日(土)、10時スタート!!!」  
少しでも多くの人に「ミナミを美しく、安心して歩ける街にしよう」という想いを持ってもらうことを目的に、ミナミに住み、働き、遊びに来る人たちに呼びかけて、音に大さつじし「ミナミの町をへんげん」というプロジェクトです。今年10月31日(土)、9時45分集合、10時開始です。道頓堀商店会の皆さんは、たんぼりパークをそごうする予定です。そごう用員は、事務局で用意します。ふるって参加してください。参加申し込みは、事務局まで。

## 道頓堀の戦後70年 ⑦ 道頓堀とともにあゆむ「松竹」の足跡

●最初の社名は「まつたけ」  
道頓堀の歴史を記すには「松竹」なしには語れません。明治から昭和の時代、松竹が道頓堀に残した功績には、大きなものがあります。

京都新京極の劇場の金主をしていた大谷栄吉を父に持つ双子の兄弟、白井松次郎と大谷竹次郎は、明治29年(1896)頃から劇場経営に乗り出しました。会社組織にしたのは明治35年。新京極に明治座を建設したのを機に「松竹合名会社」を興しました。設立当時の社名は「まつたけ」でした。いつ頃から「しょうちく」で通るようになったのか定かではありません。

●松竹の復興  
復興は早く、昭和21年浪速座で藤原

中座の正月興行(昭和13年正月)。



●道頓堀とともに藤山寛美さん  
昭和40年代から昭和の時代が終わるまで、中座では松竹新喜劇が大人気で、藤山寛美さんが一世を風靡しました。寛美さんは常に商店街のことを考えて、どうしたら街が潤うか、どうしたら街に人が流れるようになるか、開演時間や休憩時間にも配慮された、と聞きます。

●完成した道頓堀ガーデンロード。  
す(田中清三さん、当時の商店会長)  
藤山寛美さん、平成29年没、享年61歳 合掌。  
ガーデンロードを計画したのは、昭和48年、地下鉄難波から日本橋駅までの地下に「虹のまち」が完成し、人の流れが変わって道頓堀は枯渇するのではなかという危機感からでした。道路中央部に噴水、ベンチのある緑地18カ所を設けたガーデンロードは、昭和53年10月に全線完成しました。(広報 吉田利恵)

●松竹の復興  
復興は早く、昭和21年浪速座で藤原

●松竹の復興  
復興は早く、昭和21年浪速座で藤原

●松竹の復興  
復興は早く、昭和21年浪速座で藤原

●松竹の復興  
復興は早く、昭和21年浪速座で藤原

●松竹の復興  
復興は早く、昭和21年浪速座で藤原

道頓堀商店会事務局  
〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1-7-21 中座くいだおれビルB1  
TEL.06-6211-4542 FAX.06-6211-9764  
発行人：今井 徹 編集：広報委員会(吉田)

道頓堀では、放置自転車をなくして、安心して散歩できるまちづくりの社会実験の取り組みとして「道頓堀マナーアップキャンペーン」が7月8〜12日に行われました。大阪市による放置自転車の撤去後、プラッターで囲まれた敷地内(かに道楽本店・ドウトンビル、TSUTAYAビル)FOREVER21ビルの道路上に人芝、スタンディングテーブルを設置したグリーンスポットが、憩いの場になることを目的にキャンペーンを実施。合わせて、千日前通から北側、御堂筋から千日前商店街のエリアで駐輪実態調査を行い、このほど調査結果が報告されました。主催は、大阪ミナミ400年祭実行委員会とミナミ子育てネットワーク。

利用者は、7月10日(金)では1038人(推計)、日本人の比率は21%、12日(日)では1716人(推計)、日本人の比率は64%で、平日は外国人が、休日は日本人が多いと言えます。年代はいずれも、20歳代が半数近く、順に30歳代、40歳代、50歳代と続きます。来訪目的は、いずれも観光が半数以上。次に買い物客が20%、18%が飲食でした。またアンケートスタッフの感想として、「食べ場所が少ないのでテーブルがあってもよい」「もっとエリアを広めてほしい」「自転車マナーアップにつながり続けてほしい」「ゴミ箱がなくてよかったです。」「客引き行為をしている人からは評判が悪かった」などと言った声も寄せられています。